

着任のご挨拶・自己紹介

こんにちは。4月から「ボランティア活性化」ミッションで地域おこし協力隊に着任しました齋藤道子です。

広島県福山市の出身ですが、結婚を機に福島県に住むようになり、この度26年間暮らした福島市を引き払って夫の出身地でもある会津美里町に転入しました。集いの場などに参加させていただくと、義母をはじめ夫の家族親せきのことをご存知の方からお声掛けいただくこともあり、とても嬉しく、親しみを感じ、この町に来てよかったなあ！としみじみ思っています。

会津美里町の魅力

私が一番好きなのは「風景」です。散歩道から見える会津盆地や磐梯山、そして扇状地の緩やかな斜面に広がるのびやかな果樹園や田畑は、どの季節も本当に美しいです。日本の原風景ともいえる典型的な里山の景色に、ついスマホのシャッターを切る回数が増えています。

また、「人」の優しさにも感心しています。東北の人は少しシャイなので、最初の声掛けはドキドキするのですが、本当に皆さん温かくて、快く迎え入れてくださいます。この町には地域の歴史に詳しい方も多く、神社仏閣をはじめ文化財や伝統的なお祭りや行事などが地域ごとに継承されていて、住民の文化意識が高いなと尊敬しています。



▲美しい緑の通勤路。
日本各地の友人たちから羨ましがられています。

ボランティア活動の活性化

私は20年間スポーツボランティア専門NPOで事務局を担当していました。ボランティアは『自発性（自分から）』『無償性（お金のためじゃなく）』『社会性（みんなのために）』を基本とする活動です。でも、昨今の物価の高騰や労働者不足といった社会状況からするとなかなかボランティアってハードルが高く感じませんか？

会津美里町における地域課題を探り、どんなボランティア活動があれば解決に向かうのか、誰もが気軽に参加するにはどういう仕組みをつくればよいのか、今は試行錯誤の日々です。私一人でできることには限りがあります。ぜひ皆様のアイデアをお知らせいただき、一緒に楽しみながらボランティア文化を作り上げていきましょう！



▲あやめ祭りでは、地域課題を探るべく「どこから来ましたか？100人アンケート」を実施しました。

今月の協力隊

さいとう みちこ
齋藤 道子



世界45カ国を訪れたことがある「旅好き」。
故郷の瀬戸内にて、国際交流ボランティア？！